

去る7月18日、令和3年度鳥取県青少年育成アドバイザー総会が倉吉体育文化会館で開催されました。

鳥取県内ではコロナ感染者数はやや落ち着いていたものの、ぎりぎりまで開催を危ぶまれながらの総会でした。

本年度は役員の交代があり、新メンバーが加わって新体制でスタートです。

令和3年度役員 (R3.4.1～R5.5.31)

会長	西浦 公子
副会長	井上 廉女
副会長	西上 洋治
HP担当	清水 成真
監事	東 邦子
監事	芳村 恵子
事務局長	新 勝彦
事務局補佐	新川 裕二
会計	松原 厚子
顧問	山本 邦彦
広報担当	植嶋 しのぶ



令和3年度鳥取県青少年育成アドバイザー総会 R3, 7, 18

鳥取市少年愛護センター運営委員 となって

芳村 恵子

この度、石上洋治さんより委員を引き継ぐことになりました。

7月1日、第一回運営委員会がありました。鳥取市少年愛護センターの業務の概要は、「鳥取市少年愛護センター条例に基づいて、鳥取市全ての青少年が夢や目標を持ち、望ましい生活を送れる環境を醸成することを

目標とし、日常の業務を遂行する。」とありました。

今年の運営委員は12名です。その区分は、関係行政機関の職員(5人)関係民間団体に属する者(4人)公募による者(1人)そして学識経験のある者(2人)で、私はこの中に青少年育成アドバイザーとして入っていました。何と！学識経験のある者？びっくりです。

活動内容は ①パトロール活動(街頭パトロール・巡回パトロール) ②相談活動 ③環境浄化活動 ④広報・啓発活動 ⑤関係機関・団体との連携と研修です。中でも街頭パトロールは毎週火・金曜日に駅北・駅南コースに分かれ、あらかじめ計画された担当の少年補導員の方が実施されています。今年も5月に、小・中・高等学校・民生児童委員・民間企業・市教育委員など254名が少年補導員として委嘱され、既に活動をされています。

そして、巡回状況や巡回ノートよりの一言が「愛護センターだより」として毎月発行されています。「青少年への声掛けは、さわやかな挨拶『こんにちは』が基本です。」とあります。「補導(ホドウ)」と言うと、少々怖い響きすら感じますが、見守っている方々の優しい声が聞こえてくるようです。

現状報告の中から平成30年度と令和2年度の声掛け人数の変化の多いものを挙げてみます。ゲームコーナー(1004人→341人)カラオケ店(232→88)路上(104→13)スーパー・コンビニのフードコート(52→583)。コロナの影響やスマホゲーム・オンラインゲームの普及も影響しているのではとのことでした。

また小・中学校に向けて、もうすぐ始まる夏休みの「生活心得の基準」も示されました。重点目標・基本事項そして留意事項と4枚にもわたる日常生活の細かな約束事や禁止事項があります。そのすべてを子ども達が納得して行動に移せるように、どのように伝えるのか、家族や学校側の大人の力量にかかるとは思いました。そして、子ども達に「いつも気にかけているよ」のサインを素直に受け止めて貰えるように、大人への宿題のようにも感じました。





こんな活動しています

竺原晶子

自分らしく活動する姿を我が子に示したい。器用貧乏という言葉ポジティブに捉え、予定表が空いていると入れてしまう。仕方ない、それが私です。

○ e・らぼ 事務局長

10年前に県内のCAPスペシャリストが集まって、「子どもと女性のエンパワメント」を目的に、情報やスペースを提供するために作った団体です。子どもへの暴力防止が私のライフワークとなりました。子どもの人権をテーマに講演活動を行っています。

「日本女性会議 2022 in 鳥取くらし」実行委員や「にじいろスペース」立ち上げ協力は、e・らぼ代表として参加しています。

○ 絵本の読み聞かせ「そよ風」「わくわく」メンバー

月 4回×10分/回

第3子が3年生の時始め、18年目になります。地域学校委員としての年数回の連絡会よりも、毎週小学校へ読み聞かせに行っているの、子どもたちの様子がよくわかります。

○ NPO 法人子ども未来ネットワーク講師派遣コーディネーター 月 42時間

子どもとメディアのよりよい接し方についての啓発事務局を担当して12年目になります。今年から理事になりました。団体所属講師として、講演活動(R2年33回)も行っています。

メディア利用の状況は年々悪化しています。

○ 倉吉スイミング コーチ

週 12時間



夏休みは短期教室があるので5時間×2週増。対象は4歳から12歳。4年前はメインではなくサブコーチを担当し、メインコーチの代替えコーチとしてかかわる程度にしていました。若いコーチが早く育ててほしいです。主に中部の子ども達。まじめ～な子もいれば困ったちゃんもいます。そんな時、困ったちゃんは「困っている子」と思って、対応するように心がけています。子どもの権利を

どう守るかという視点も常に心にとどめて関わっています。私のクラスの3つのルールは 1. 歩きます。2. ビート板を大切に。3. 暴力反対 です。

○ 地区青少年育成協議会委員

会長になった年から始めた親子スキー教室が本年度15回目を迎えます。4 地区合同事務局を毎年担当しています。例年の参加者は100人以上、昨年度は74名でした。本年度は多くの親子が参加してくれたらいいと思います。

○ 鳥取県 DV 予防啓発支援員

年 3～5回高校でDV 予防啓発授業実施。

○ 2 団体電話取り

月平均 15時間 聴くということを大切に。

福祉支援員の中には、公表してはならない立場があります。身分や立場が明らかになってしまった人は、同行支援はできません。事案も例としても出さないです。表に出ないものはないことになってしまうと危惧します。個人情報を守りながら、出せる情報は出していかなければならないと思います。

「鳥取県内でもこんなことが起きていますよ。」身近なこととして、アンテナを張って暮らしてほしいです。

青少年育成とは何か。

私たち大人が、子どもの権利条約を学び直し、大人同士で啓発し合わなければならないと思っています。しかし私でも、言える人と言えない人がいます。

～以下、鳥取県性暴力被害者支援センター作成の資料を掲載いたします～

(参考資料 「No! 性暴力」 から抜粋)



リーフレット「NO!性暴力」



NO! 性暴力

性暴力被害者支援センターとっとり
クローバーとっとり

（県内専用フリーアクセス）
☎0120-946-328

（全国共通ダイヤル）
#8891

相談無料 秘密厳守

名前を言わなくても相談できます。
年れいやセクシュアリティ(性別)にかかわらずどなたからのご相談もお受けします。

**「これって性暴力?」と疑問の時
どうしていいかわからない時
うまく話せなくても大丈夫**

性暴力をしない・させない・見逃さない

自分のことは自分で決める
いつ、だれとどのような性的な行為をするかしないかは自分で決める

自分の気持ちを大切に
「こうしたい」って気持ちを伝える
「イヤだ」の気持ちを大切に
イヤな時は「イヤだ」と言いたい
「イヤだ」と言えない時、その場をはなれる!

おたがいの気持ちを尊重する
アクションをおこす際には
本当の両意がいるよ

あなたのそばでおこっている性暴力

**相手がだれであっても、
どんな状況でも、
あなたが望まない
性的な行為は性暴力**

年れいや
セクシュアリティ(性別)に
かわらずに暴力被害に
あっています

① 体をさわっていないけども
② 同意なくさわられる
③ 性的いじめ
④ 恋人どうしでも
⑤ 性虐待
⑥ インターネットを利用した性暴力

子どもに下着姿や裸の写真を送ったり、送らせたりするのは、性暴力です。

保護者であるなど、優位な立場を利用して、子どもに性的な行為をするのは性暴力です。

「つきあっているから大丈夫」と、相手の気持ちを電かめず性的な行為をするのは性暴力です。

上下関係を利用して相手に「イヤだ」と言いにくい状況で性暴力がおこっています。

相手の気持ちを確かめず(同意なく)体をさわると、キスやハグ、性的行為をするのは性暴力です。

体をさわっていないけども、体をからかったり、のぞいたり、性根を刺したり見せたりするのは性暴力です。

「米作り」1年生!!



布広 覚

私は農業を経験してきましたが、任されたというか、やらなければならない状況になりました。この米作りは、妻の実家の水田です。妻の父は高齢になり体調を崩し、又この家の長男も体調を崩し、私の出番となりました。今までは、お手伝い程度で田の荒起こし・代掻き・田植え・畦草刈り・稲刈り(稲刈機械)・稲扱き等機械作業を家主に相談しながら作業をこなしていました。が、水の管理・田の草の対処等多くの作業の判断をしなければなりません。なかなか難しいものです。

*** 水の管理**： 稲の成長に、またコンバインの作業能力を大きく左右します。

*** 田の草の対処**： 米の収穫量に、これもコンバインの作業能力を大きく左右します。

この家の田は5反半程あり、その内1反2畝を自家米として収穫し、残りは農協へ出荷します。

昨年、自家米の収穫をコンバイン作業での委託収穫にあたらしたら、田の乾きは良くないし、田の草は沢山生えているし、困難を極めました。また、農協に出荷を委託した田も同様でした。このような田の状況であり、収穫量も例年より少なめでした。受託者からは、田の状況にとても不評でした。

このような状況をふまえ、「今年こそは『良い田んぼ』を作らなければ」と、頑張っているところです(自己申告)。

農協の「水稲栽培ごよみ」を参考書に、水稲の「青空教室」に参加し、「農協の営農センター」に相談し「妻の父の指導」を受けながら気を引き締めているところです。水の管理・田の草の対処法、とても難しく感じています。

私にはこの他に、1町6反の「三朝神倉大豆」の生産作業があり、これも中々、大変な作業です。猪対策、鹿対策、畦草刈り等農業の難しさを感じている毎日です。

～徒然なるままに～



第5報

石田 容子

「おばあちゃんの子どもの頃の話聞かせてほしい」と、コロナで休校になり一人で泊まりに来た小学校4年生の孫が寝床の中で言った。

「おばあちゃんの家はお寺で、戦争が終わって、住むところに困った人が一緒に生活していたよ。」

「おばあちゃんが小学生までは、電気製品はラジオだけ、他に何もなくて、14人くらいでお風呂も、台所も譲り合っ

て暮らしていたから、大家族のようで楽しかった。」

「小学校から帰ると50段の石段の掃除をして、お風呂を

焚くのが、おばあちゃんの仕事だった」

話を聞きながら孫は眠りについた。

私は孫のおかげで、物は決して豊かではないが、懐かしい人たちの顔や思い出をふり返り、たくさんの人に育てられていた子どもの頃の事を思ってみた。

青少年育成アドバイザーとの出会いを大切に出来るのも、この様な子どもの頃のたくさんの人と交わる事で得られた楽しさを経験していたからだと思う。

長年、青少年育成アドバイザーの会で、たくさんの気づきをもらい、育ててもらった時間は、私の宝物です。

思い返すと、生活を共にしたおじさん、お婆さん、おねえさんなど、今のアドバイザーの様な役割をはたして下さる人に囲まれて育っていたのです。

新川先生の「子どもの今は、今しかない。」その通りだと思えます。

孫が帰るときに「僕が、お父さんやお爺さんになった時、昔コロナという病気で、世界中が大変だった、と話す日がくるのかなあ。」と一言。

一日も早く、当たり前の日常を取り戻したいものです。



～ 全日本アド アド連だより より ～

今年6月「調査報告書 2021」が刊行されました。この報告書を全国の青少年育成支援活動の実践・計画に活用し、「調査報告書 2021」の輪を拡げましょう。

受賞おめでとうございます！

西上 洋治 さんが

令和3年度 全日本青少年育成アドバイザー連合会
会長表彰 を受賞されました。

本年度は、全国アド連から10名の方々が表彰されました。ますますのご活躍をお祈りいたします。

鳥アド連の方々も、社会的に公的に個人的に家業に家族業に、各自でさまざまに活動されていて、その活躍ぶりは刺激になり参考になります。



R3年度鳥アド連 会費納入のお願い (3,000円)

今年度会費未納の方は下記の口座にお振り込み下さい。

ゆうちょ銀行

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

【店名】五二八(読み ゴニハチ)

【店番】528

【普通預金】 【口座番号】1109034

編集後記

人類は「すべての感染症は撲滅できる」と高を括っていたばかりに、今、新型のウイルスに翻弄されている。そのうち今度は、世界中が陰ながら恐れている大変な食糧危機に見舞われるかもしれない。農作物の自給率が低い日本はどうなるだろう。他国からの兵糧攻めに遭ったらひとたまりもない。これでいいのか日本！ このままでいいのか私たち！

宅地化していく水田、あちこちで荒れ果てていく水田を眺めながら、ふと違和感を感じる。少しでも、動けるうちは少しでも田を守って、次の世代の人たちに耕作地を残していくべきではないか…。鎌も鋤も握ったことのなかったド素人の私が、生意気なことを思っている。高齢の義父たちの米作りを横目でみながら、その奥深さに感じ入っている。まだ1年生にもなれない。が、「米作り1年生」を目指そう…と思っている。

米作り1年生の布広さん、1年生入学おめでとうございます！

そして、青少年よ、今こそ、生き残るために百姓を目指しましょうよ！

